

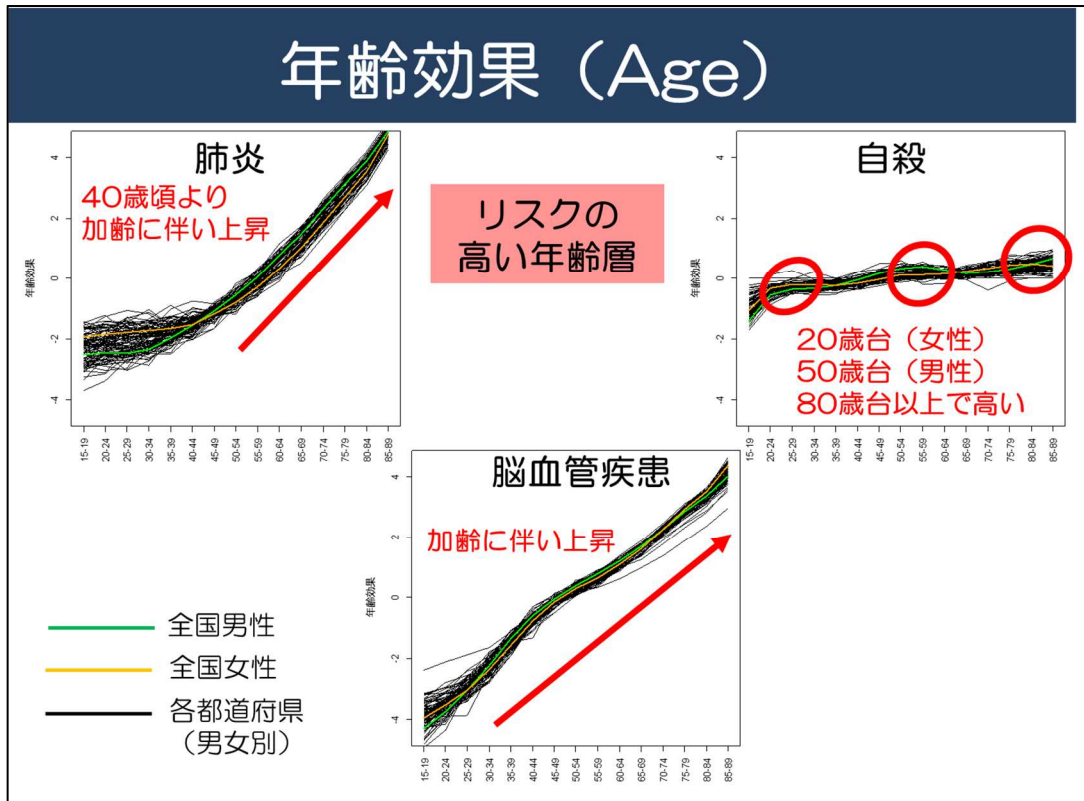
# 年齢要因（加齢やライフステージ）

疾病動向は、各年齢層がもつリスクとその構成割合に応じて変動します。

一般に、各年齢層の特性をみるときに「年齢階級別の集計値（率・割合など）」が用いられますが、これには時代要因や世代要因による影響が含まれています。

**\*本サイトでは、他の要因の影響を除いた各年齢層のリスク（年齢効果）を提示します。**

高リスク戦略のターゲットとして、リスクの高い年齢層を特定することができます。



## 全国（緑・橙）の結果からわかること

脳血管疾患や肺炎では、男女とも加齢に伴ってリスクが高くなるのに対して、自殺では20歳台の女性、50歳台の男性、80歳台以上の男女のように特定の年齢層でリスクが高いことがわかります。

## 各都道府県・男女別（黒）の結果からわかること

脳血管疾患や肺炎では、パターンは類似していますが、加齢に伴う変化の大きさにバラツキがみられます。自殺では、パターンや変化の大きさにバラツキがみられます。

\*詳しくは、メインページの上のプルダウンリストから選択してください。

都道府県の健康指標  
年齢・時代・世代でみる

都道府県を選択 ▾

年齢効果を選択 ▾

死因を選択 ▾

- ① 選択した都道府県における年齢効果をみたい・・・「年齢効果」へ
- ② 類似の特徴をもつ都道府県を知りたい・・・「地域特性」へ
- ③ 全都道府県でみたバラツキの程度を知りたい・・・「都道府県別格差と性別格差」へ
- ④ 特定の年齢層のリスクを全都道府県で比較したい・・・「リスクマップ」へ